

平成27年度 事業計画

I. 法人運営事業

1. 理事会の開催

業務執行の決定、各種規程改正他

2. 監査の実施

理事の職務執行の監査他

3. 評議員会の開催

役員人事・決算の承認、定款変更の決定他

II. 社会福祉助成・支援事業

1. 社会福祉関係者に係る研修・研究事業に対する助成

社会福祉法人等が実施する「福祉関係者の専門性向上」に寄与する先駆的研修、研究事業等に助成を行う。

(1) 平成27年度 社会福祉助成金交付

- ①助成件数 : 48件
- ②助成額 : 1,691万円
- ③助成事業成果報告 : ホームページ他に掲載
- ④助成先事業の視察励行

(2) 平成28年度 社会福祉助成事業の実施要綱(案)

①平成28年度 社会福祉助成事業募集(対象:社会福祉関係者)

ア、研修事業

- ・集合研修:福祉サービスのあり方や専門的知識、技能の習得等をテーマとして開催される集合研修(研修会・セミナー等)
*対象経費:講師謝金、交通費、宿泊費、会場費、報告書作成費等
- ・派遣研修:福祉施設職員等が幅広い視野と専門性を持って支援業務に携わるために他の福祉施設・団体等で一定期間実習する派遣研修
*対象経費:交通費、宿泊費、報告書作成費

イ、研究事業

- ・実践研究:各福祉分野の先駆性ある事業の実践を通して行われる成果、課題のまとめ等の実践研究
*対象経費:実践研究事業費、調査経費、報告書作成費
- ・調査研究:社会福祉関係者の専門性向上、現任訓練の方法や体系、また

就労、福利厚生等をテーマとする調査研究事業

*対象経費：調査経費、研究謝金・原稿料、報告書作成費

ウ、申請者：原則として社会福祉法人とする。

(法人格のない申請者は、市町村社協の推薦を得て申請)

エ、助成限度額：助成対象費目合計の80%以内かつ50万円以内

オ、助成予算額：2,000万円

カ、申請期間：平成27年11月1日～12月15日予定

キ、選考方法：選考委員会で審議・選考し、理事会で最終決定

②助成事業予備選考会・選考委員会の開催

(3) 平成27年度(当年度)に実施する事業への助成

ア、対象事業：研修、研究事業(公募以外の事業)

イ、申請者：原則として社会福祉法人

ウ、助成限度額：50万円程度

エ、助成予算額：200万円(平成27年度予算)

オ、受付時期：随時

カ、選考方法：個別案件ごとに理事会決定

2. 社会福祉に関する諸活動に対する支援及び助成

(1) 介護福祉士資格取得支援事業(チャレンジ!! 介護福祉士)

県社会福祉協議会と連携して、働きながら介護福祉士資格(国家資格)の取得を目指す福祉関係従事者の資格取得・学習を支援する。

①介護福祉士資格取得のための受験対策講座受講者(県社協実施)への支援
資金助成150万円(原則各県30万円)

秋田県社協、岩手県社協、福島県社協、山梨県社協、長崎県社協

②自宅学習者への資格取得支援

ア、第27回「介護福祉士国家試験」過去問題解説集の新規作成

イ、直近3年分過去問題解説集のセット販売(送料負担)

100セット(100セット×@3000円)

(2) アジア福祉助成

全国社会福祉協議会の招請で福祉研修に参加したソーシャル・ワーカーなどが、帰国後に研修成果を活かして企画する障害児・者や貧困家庭などを支援する事業に助成し、日本とアジア諸国の福祉交流の醸成と福祉向上を図る。

①活動資金助成

ア、助成額：1団体30万円程度

イ、助成予算額：150万円

ウ、推薦：全国社会福祉協議会(全社協経由で助成金交付)

②助成施設・団体の現地事業視察と福祉関係者の交流支援

アジアソーシャルワーカー（全社協研修生）セミナー推進など

(3) 東北復興車いす支援

震災被災地の仮設住宅や老人ホームなどに車いすを寄贈し、現地で車いす整備を行う工業高校生や大学生の復興支援活動に助成する。

①車いす支援（輸送、タイヤ購入）

②現地整備活動（大森学園高校、神奈川工科大学、新潟医療福祉大学など）

3. アジア等の障害者への車いす修繕・寄贈事業等に対する支援及び助成

工業技術を学ぶ高校生、大学生が、日本では廃棄される車いすを修理、再生してアジア各国の障害児・者や高齢者に寄贈する活動に助成する。

(1) 車いす修理ボランティア活動支援

メンテフリーで長く利用できるノーパンクタイヤを購入し、修理活動する工業高校に支給する。また、ボランティアの旅行者がアジアへ届ける車いすを学校から空港に配送する経費を助成する。更に修理講習会開催を支援し、修理技術の向上やボランティア活動の促進を図る。

①ノーパンクタイヤ・部品等の購入費助成

②車いす配送費助成（学校⇒空港など）

③修理技術向上と修理活動促進のための活動への助成

修理講習支援（開催地：岩手県、東京都、神奈川県、新潟県など）

④『書損じはがき』収集活動推進

専用リーフレット等による広報活動の展開とはがき収集活動の推進

(2) 車いす輸送支援（アジア障害者支援）

修理校の増加により、輸送ボランティア（旅行者など）が運びきれない車いすが年々増えている。この車いすを速やかにアジア各国に届け、より多くの人に利用してもらうためにコンテナ船輸送を行う。また将来、アジア各国において現地ボランティアが車いすのメンテナンスを独力で行えるように、コンテナ船輸送にあわせて海外修理経験のある教職員、大学生などが現地で修理技術指導を行う。

①空飛ぶ車いす（航空機輸送）（約 250 台）

ア、海外旅行者（ボランティア）による手荷物輸送

イ、海外修理講習者（大学生・高校生参加）による手荷物輸送

ウ、修理学校ネットワークによる手荷物輸送

②コンテナ船輸送

輸送先予定：タイ、スリランカ等（約 500 台）

4. 広報事業

(1) 日社済ホームページの公開、更新

- ①内容：本会事業の公開（助成事業募集、助成事業成果報告など）
- ②更新：随時

(2) 広報誌の発行

- ①内容：助成事業成果報告など
- ②発行回数：年3回程度
- ③発行部数：4000部
- ④配布先：県・指定都市社協、市町村社協、助成金交付施設等

(3) 日社済事業の広報強化

広報誌(車いす特集号)の作成

- ア、目的：福祉団体・マスコミ等への広報
- イ、内容：本会公益事業の広報

Ⅲ. 社会福祉関係者の共済に係る事業

1. 団体扱保険料収納事業

ジブラルタ生命保険(株)と提携して、社会福祉法人などの福祉関係法人、社会福祉施設及び関係団体(「会員」という)に勤務する役職員、構成員及びその家族を対象に「団体扱個人保険」を取り扱い、日社済『福祉の共済事業』として位置づけ保険料収納事業を実施する。

2. 会員施設サービス事業

(1) ライフサポートクラブ

会員施設の役職員とその家族向けに福利厚生サービスを会員価格で利用できる制度

(2) 福祉図書の割引

会員施設の役職員への福祉図書の割引斡旋制度